

**早** 稲田大学の創立者で後  
 の首相・大隈重信は、統  
 計に関心を持ち、明治14年「今  
 の国勢を一目瞭然にするもの」と  
 して統計に及ぶ物はない」と、  
 日本で初めて「国勢」という言  
 葉で重要性を訴え、統計院を設  
 立しました。そし  
 て時は明治34年  
 「国勢調査三関ス  
 ル法律」を制定。



しかし、日露戦争や第一次世  
 界大戦の影響で延期せざるを  
 得ない状況のまま、時は流れ大  
 正6年、統計局長・牛塚虎太郎  
 の働きかけでついに国勢調査の  
 実施が決定します。やがて、大  
 正9年「東京統計協会」会員と  
 して統計を重視す  
 る原敬首相の元で  
 第1回国勢調査が  
 実現したのです。

**約半世紀の尽力が実を結び  
 日本初となる国勢調査を実現**

**Census History 2**



**Census History 1**

**日本近代統計の祖・杉亨二が  
 明治政府へ「人口調査」を提唱！**



**今** から約180年前に欧米で誕生した、社  
 会を数量的に把握する「統計学」に日本  
 で初めて着目した人物が、長崎出身の蘭学者・杉  
 亨二でした。もともと江戸時代に「開成所」の教授を  
 務めていた杉は、数字で社会を分析する統計学に没頭し、  
 明治維新後には「東京統計協会」を発足。杉たちは、  
 国の情勢を数字で把握する大切さを感じ、明治  
 政府へ調査を提唱しましたが、「戸籍」の存在  
 や巨額な調査費用（現在で約144億円）のため、なかなか実現にまで至りませんでした。

**Census History 3**

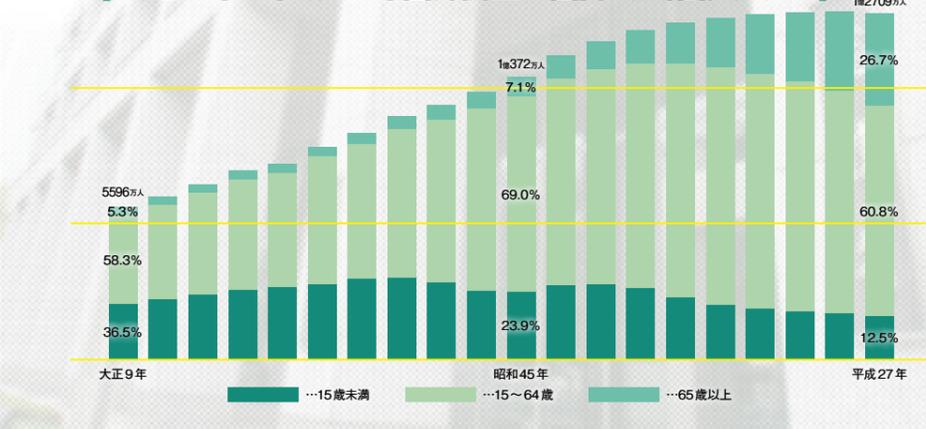
**大正・昭和・平成を超えて  
 継承した国勢調査を令和で実施**

**調** 査はその後国の重要事業として継  
 続されてきましたが、昭和20年は第  
 二次世界大戦の影響で一時的に中止。戦後復  
 興の政策立案のため、昭和22年に臨時調査  
 が行われて以降は、現在まで5年毎に調査  
 が実施されています。調査項目が追加される  
 など形を変えながら、日本で最も重要な統計  
 として今の私たちへと受け継がれています。



←第1回国勢調査の記念ハガキ  
 ←第1回国勢調査のポスター。大正9年10月1日午前0時には、各地でサイ  
 レンや大砲、太鼓が鳴り響き、国民を含めて大変な意気込みで実施されました。

**【大正9年～平成27年国勢調査の国内人口推移グラフ】**



**赤ちゃんや外国人も対象  
 国の情勢知る「国勢調査」**

「いま、日本がどんな状況で、  
 今後、どのようなようになっていきそ  
 うなのか」という国の情勢を5年  
 に一度調査する国勢調査。この  
 調査は、生まれたばかりの赤ちゃ  
 んや外国人を含む、10月1日時  
 点で日本に住む全ての人が対象  
 となります。

日本では、この調査の他にも  
 「住宅・土地統計調査」や「全国消  
 費実態調査」など、多くの調査が  
 行われていますが、その中でも  
 国勢調査は「最も重要かつ基本  
 的な統計調査」に位置づけられ、  
 今から百年も前の大正9年から  
 現在に至るまで西暦が5の倍数  
 の年に継続・実施されています。

日本で暮らしている全員の情  
 報をまとめて正確な統計を取り、  
 国や地域が進む道筋を立てるた  
 めに実施される「国勢調査」。そ  
 こから得られる貴重な統計は、  
 日本のありのままの実態を把握  
 することで、傾向や課題、その  
 対策を考えることなどに役立て  
 られます。そのため、一人ひと  
 りの協力と正しい回答が求めら  
 れています。



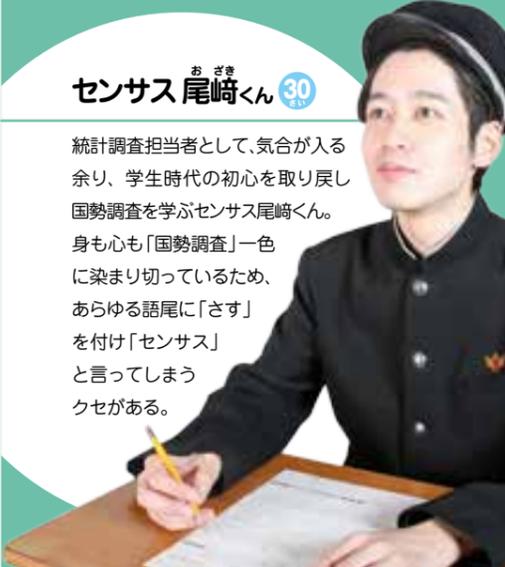
**国勢調査の基本を復習**

大正9年（1920年）にはじまって以来、5年ごとに実施され、今回で百年目と  
 いう節目を迎える「国勢調査」。どこまでを対象として、どんな規模で調査するのか。  
 そもそもこの調査はどのように始まったのかなど、国勢調査の歩みを振り返ります。

「国勢調査」への意識が  
 変わるかもしれません

**課外授業**

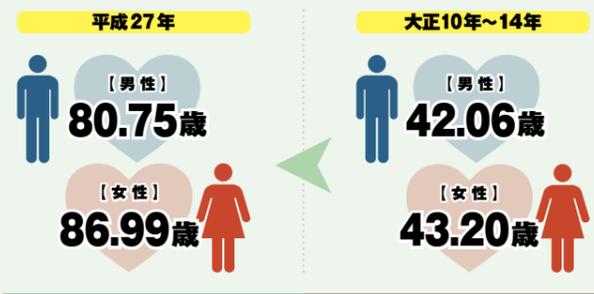
**日本  
 今昔比較  
 1920  
 ↓  
 2015**



**センサス 尾崎くん 30**

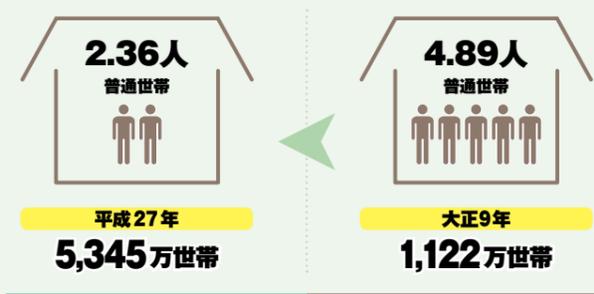
統計調査担当者として、気合が入る  
 余り、学生時代の初心を取り戻し  
 国勢調査を学ぶセンサス尾崎くん。  
 身も心も「国勢調査」一色  
 に染まり切っているため、  
 あらゆる語尾に「さす」  
 を付け「センサス」  
 と言ってしまっ  
 けがある。

**平均寿命は2倍以上に！**



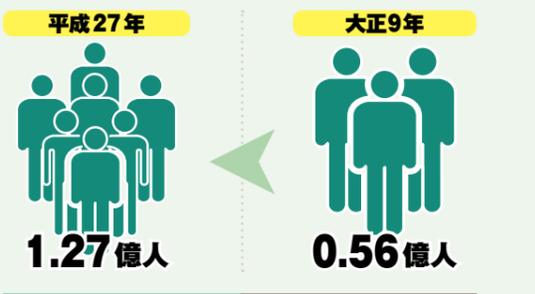
食糧の改善や医療の進歩などで日本の平均寿命は約2倍も伸びまし  
 ました。2018年の平均寿命世界ランキングで日本は、1位の香港(84.93歳)  
 に次ぐ2位(84.21歳)と、世界の中でも寿命が長い国となっています。

**世帯数は百年前の5倍に！**



「三世帯同居」などの大所帯が減少し、未婚・晩婚・離婚などの理由か  
 ら単独世帯や核家族世帯が増加したことにより、世帯数は近年急増  
 傾向。世帯数に逆行するかのようには世帯人数は減少傾向にあります。

**人口は2.3倍も増加?!**



人口は2倍以上に増加しましたが人口割合を比較する  
 と、15歳未満の年少割合は減少し、65歳以上の老年割  
 合は増加。深刻な「少子・高齢化」の現状がうかがえます。